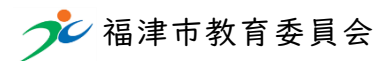


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の概要



全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に文部科学省が行っています。

本年度は、令和5年4月18日に、小学6年生と中学3年生の児童・生徒を対象とし、小学校調査は、国語、算数の2教科、中学校調査も、国語、数学、英語の3教科で実施されました。また、学力調査だけではなく、児童生徒の学習意欲や生活習慣及び学校の状況や取組等についても調査しています。

調査結果は、文部科学省から、7月24日に市町村教育委員会に、7月27日に各小学校に、8月2日に各中学校に提供されましたので、調査結果の概要を公表いたします。

福津市は、「志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども」の育成を目指しています。公表においては国語、算数・数学、英語の学力調査の結果だけではなく、児童・生徒質問紙から福津市が目指す子ども像と関連の深い項目を取り上げています。これは、保護者・地域の皆様に、福津市の子ども達の学力や学習の状況をお知らせすることで、福津市の教育への関心を高め、地域ぐるみで子ども達の育ちを支える「コミュニティ・スクール」の充実・発展につなげたいと考えているからです。

なお、児童・生徒質問紙については、調査結果を基に福津市教育委員会の分析・考察を述べております。この分析・考察はあくまでも一つの側面ではありますが、これを基に子ども達のために何ができるか、何が必要か、保護者、地域の皆様が考える手がかりにして頂きたいと思っております。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果

1 全国学力・学習状況調査について

本調査は、小学6年生は国語、算数、中学3年生は国語、数学、英語について行いました。出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を見るものです。また、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を一体的に問う問題として構成されています。

2 教科区分毎の標準化得点

※標準化得点・・・全国の平均正答数を100としたときの本県の平均得点のこと

(1) 小学校

	国語	算数
福津市	109.6	108
福岡県	101.1	100
全国	100	100

(2) 中学校

	国語	数学	英語
福津市	103.8	102.6	94.8
福岡県	100	100	92.2
全国	100	100	100

なお、表内の数値は、各教科区分における標準化得点を示していますが、これらの数値はあくまでも学力の特定の一部であり、本市の教育活動全てを評価するものではありません。

3 調査結果を受けて

本調査結果をみると、小学校では国語と算数の全ての教科において県や全国と比べて、やや上回っています。

中学校については、国語、数学においては、県や全国と比べてほぼ同じ結果です。英語においては、全国と比べてやや下回っています。

今後は、学校ごとの調査結果について詳細な分析を行い、学校全体で分析結

果を共有するとともに、学力向上プランの改善、活用に取り組みます。さらに、福津市学力向上スタンダードに基づいた「表現する（書く）活動」を重視した授業改善、ICTを活用した授業実践など、日々の授業改善等に取り組みます。

また、学校・地域・家庭と連携・共働した学力向上の組織的な取組についても、市内全ての小・中学校で一層推進していきます。

福津市教育委員会としましても、学力向上の取組を推進するために、本調査結果に基づき、授業改善及び授業力向上に資する研修を行っていきます。

数字でみる福津市の子ども【小6・中3】（令和5年4月現在）

福津の子は「志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども」として どのような成長を遂げているのか

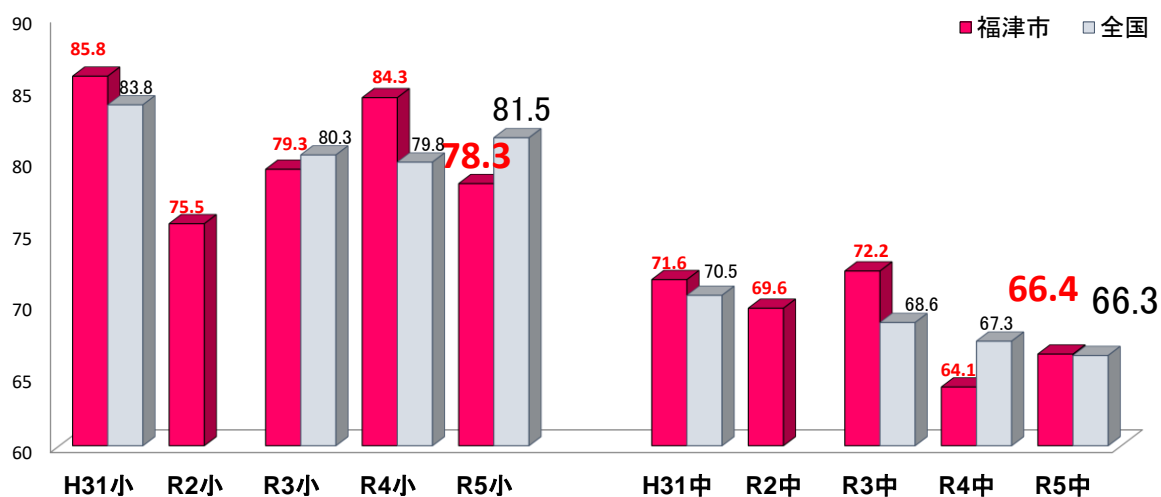
令和5年4月に小学6年生、中学3年生の全児童・生徒を対象に行われた全国学力・学習状況調査の「児童・生徒質問紙」の集計結果をもとに福津市の子どもの実態をみてみます。

この結果のみで「志をもち、未来をたくましく切り拓く福津の子ども」の全容を把握することはできませんが、実態を把握する上での指標となると考えます。

◆ 「認め合い、鍛え合い、創造する子ども」

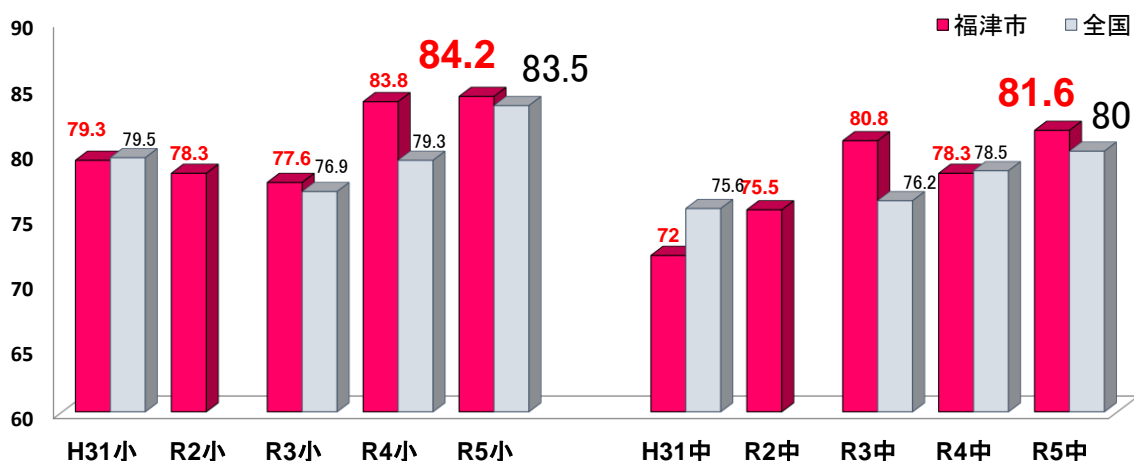
将来の夢や目標を持っている。

（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）

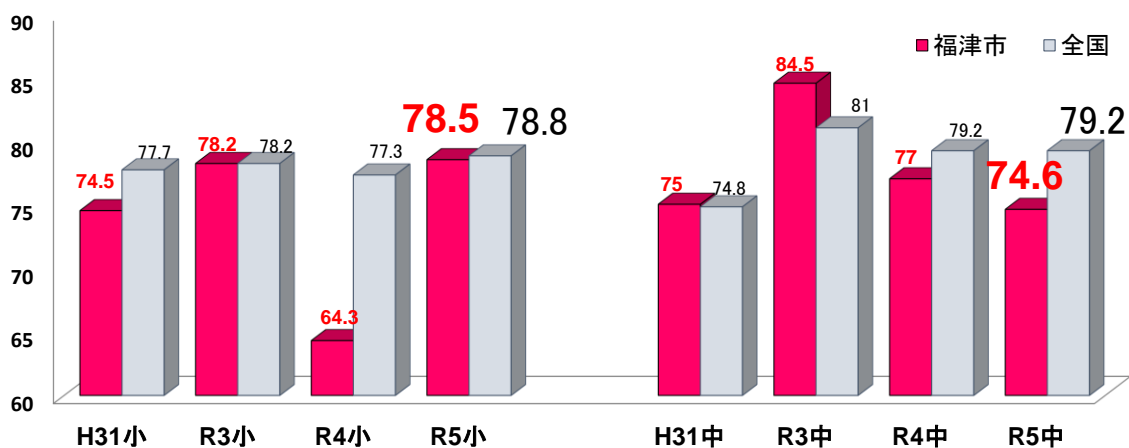


自分にはよいところがある。

（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）

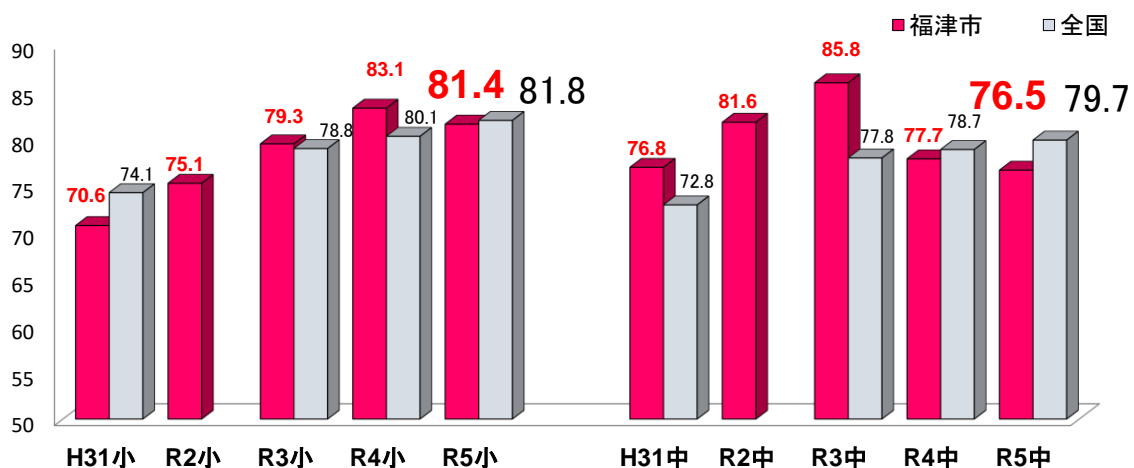


5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか。（そう思う、どちらかといえば、そう思う）



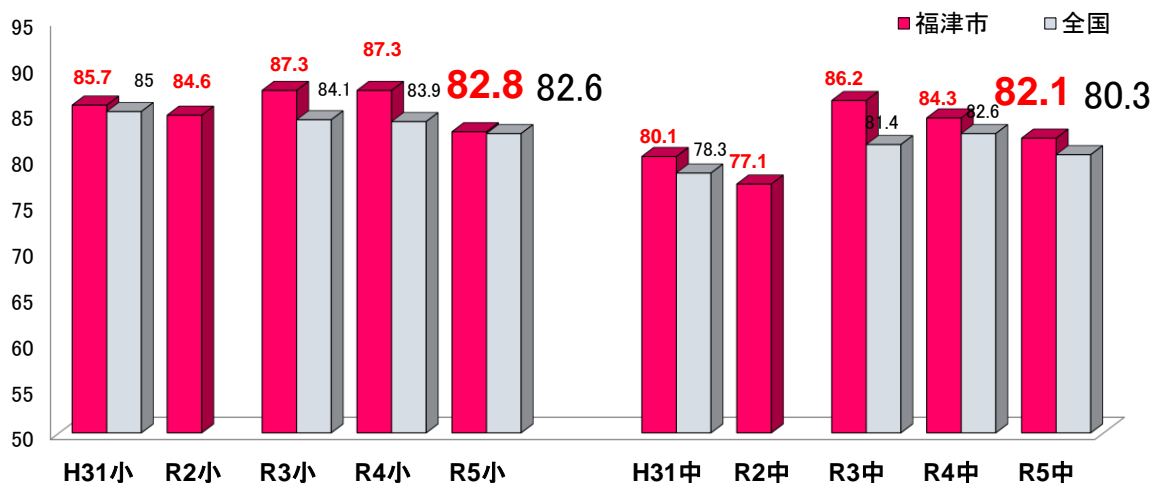
37

□「自分にはよいところがある」の項目は、小・中学校では全国平均を上回りました。また、「夢や目標を持っている」の項目は、小学校では全国平均を下回っていましたが、昨年度と比べると改善傾向にあり、中学校では全国平均を上回っています。今後も、小中9年間を見通したキャリア教育等に取り組んでいきます。

□「5年生（1・2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分の考え、自分から取り組んでいる」の項目は小・中学校ともに下回っており、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」の項目は、小・中学校では、全国平均を下回っています。今後は、さらに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を各学校で取り組んでいきます。

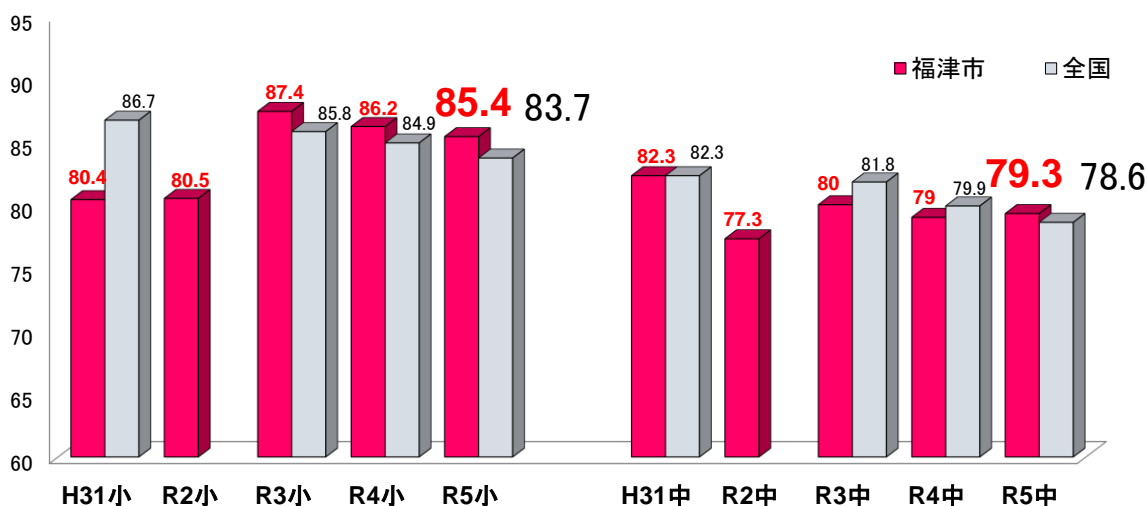
◆ 規範意識や社会性を身に付けた子ども

いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
（そう思う）



40

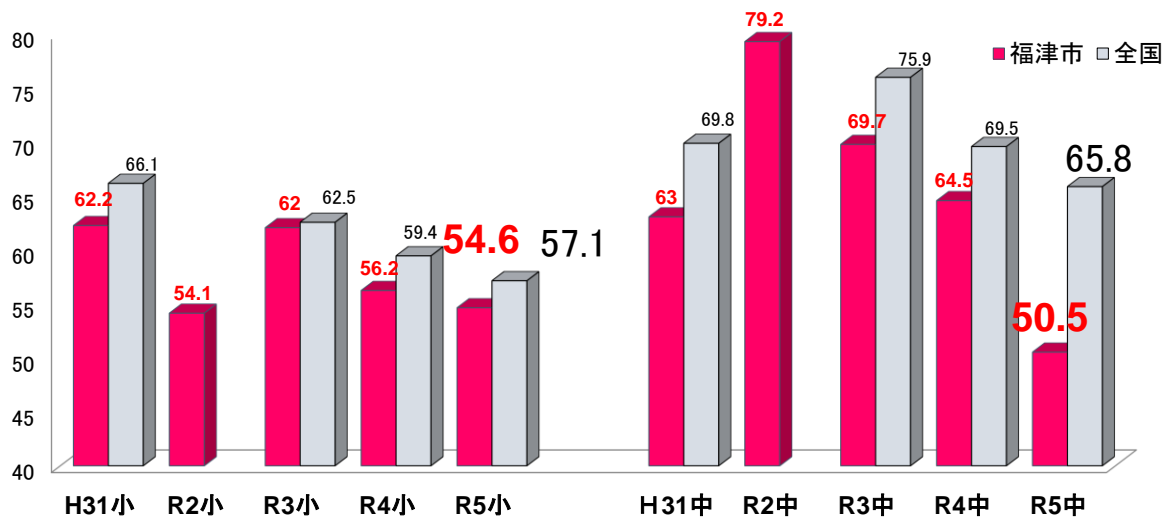
毎日朝食を食べている。(あてはまる)



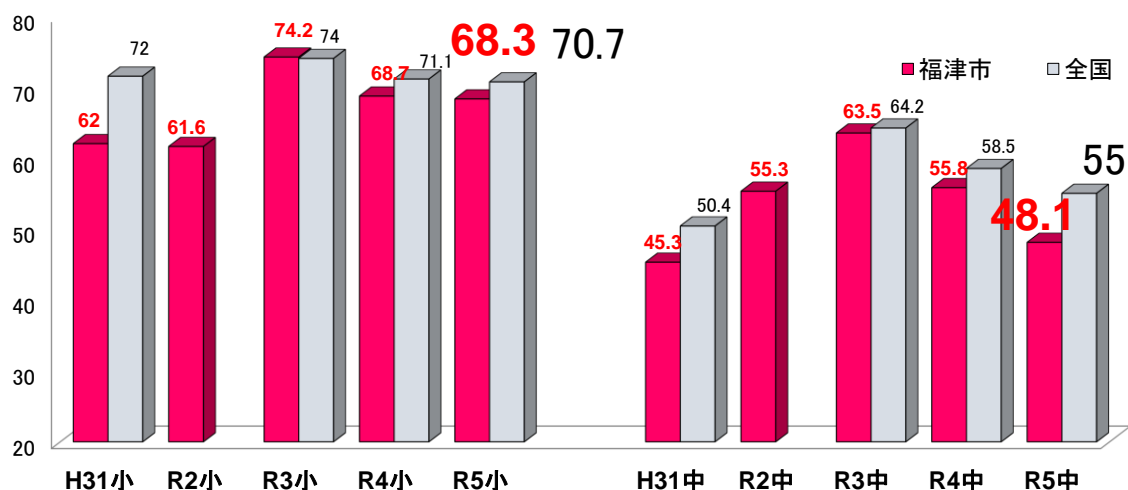
□「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、小・中学校ともにほとんどの子どもが「いけない」と判断しており、規範意識の高まりがみられます。すべての子どもが、いじめはどんな理由があっても絶対に許されない行為であるという強い認識をもてるよう、全教育活動を通じた指導を継続していきます。

□「毎日朝食を食べている」の項目は、小・中学校では全国平均を上回りっています。子どもたちの健やかな成長のために「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣を、今後も継続して身につけさせていきたいと考えています。

学校の授業時間以外に、平日1日1時間以上勉強をしている。
（塾なども含む）



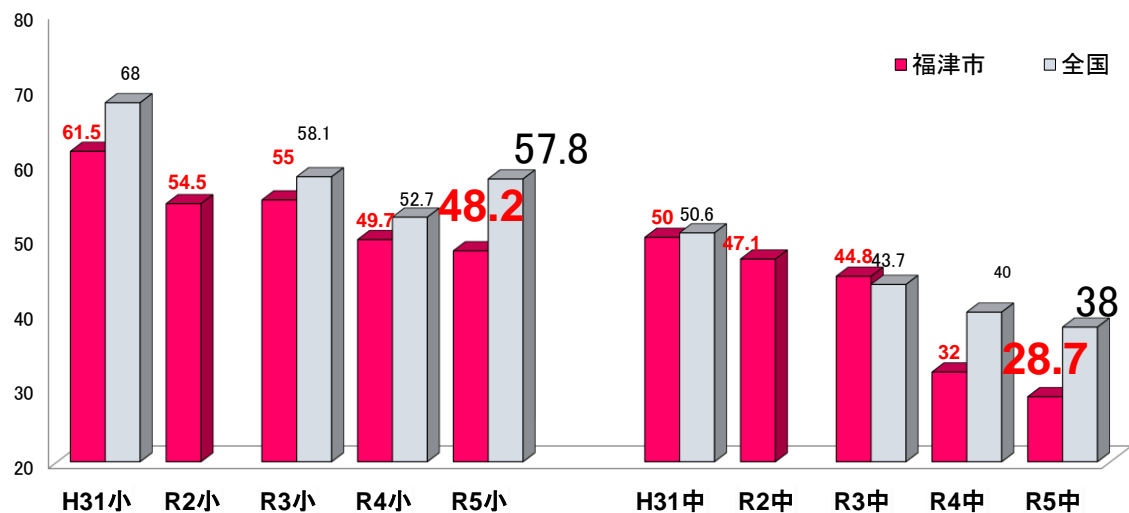
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
（よくしている、ときどきしている）



- 規則正しい学習習慣について、「平日1日あたりの家庭学習の時間」の項目では、「1時間以上している」割合が、小・中学校ともに全国平均を下回っています。家庭学習を進める上での学校の指導の在り方を見直すとともに、ICT機器を活用した探求的な家庭学習も視野に入れながら、家庭・地域と協働した取組を充実させていきます。
- 「家庭で自分で計画を立てて学習をしている」の項目については、小・中学校ともに全国平均を下回っています。計画的な学習の取組を充実させるために、小・中学校での連携を意識して、各学校でも指導していきたいと考えます。

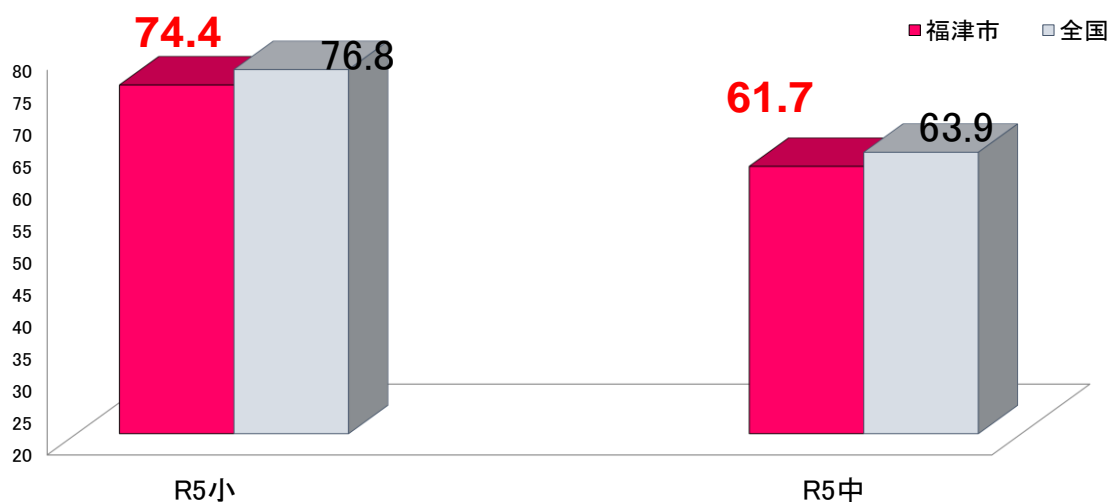
◆ 福津のよさに学び、貢献する子ども

今住んでいる地域の行事に参加している。
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



47

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）



49

※「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の項目は、本年度から付け加わった項目です。

□「地域の行事に参加している」の項目は、昨年に引き続き低く推移しています。今後も、生活科や総合的な学習の時間や道徳を中心に、地域の行事を大切に思う子どもたちを引き続き育てていきます。

□「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」については、小・中学校では全国平均を下回りました。小・中9年間の連続したコミュニティ・スクールの取組を新化させ、ボランティア活動等を通して、地域に貢献する喜びや地域の一員としての自覚をもった子どもの育成に更に取り組んでいきます。